

高崎高等学校全日制 学校評価の概要(令和2年度)

- 主な成果：高い志の育成 インターンシップ 教育相談 情報発信等
 ○ 主な課題：ボランティア活動 生徒のSNSの使い方 コロナ禍おける学校行事確保等

学校評価にご協力いただいた皆様には、率直な評価やご意見ありがとうございました。結果を踏まえ、更なる学校改善に取り組んで参ります。引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 特色ある学校づくり

自己評価 ^{*1}	学校関係者評価 ^{*2}
<ul style="list-style-type: none"> ・高いレベルの文武両道 A ・主体的な学校行事への取組 C ↓ ・充実したSSH活動 B 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を十分に講じながら学校行事は粛々と進めるべきだ。これまで、できる範囲で実行してきたことは評価できる。

〈今後の改善方策〉 ボランティア活動を全校で積極的に行えるよう生徒会総務を中心に活動を進め、地域と連携を図っていく。

2 学習活動

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程・授業への満足感 A ・快適な学習環境 A ・シラバスへの満足感 A 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が生き生きと授業をしている様子から、教員側の教えたい気持ちが伝わり、教材研究への向上心が窺える。

〈今後の改善方策〉 各授業で学ぶ意味を生徒と共に考え、生徒の意欲を高め、教科横断的なカリキュラムを意欲的に取り入れ、授業改善に努める。

3 学校生活

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・学校に対する満足感 A ・部活動の充実感 A ↑ ・安全・安心 B ・生活習慣 B 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においては生徒・保護者の心情に寄り添った対応が大切である。スクールカウンセラーを軸とした学校の対応は組織的に機能している。 ・臨時休業中は、学校側が学習、生活をリードした。

〈今後の改善方策〉 コロナ禍にあっても、生徒の成長に係る学校行事はガイドラインに沿って行う。自転車通学者のヘルメット着用の周知・指導を徹底する。

4 進路選択

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・進路関係行事・資料 A ・インターンシップ A ↑ ・自己理解と高い志 A ↑ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力向上や学習保障のために学校は組織的に十分な対応をしている。それが結果にもつながっている。キャリア教育の機会拡充は課題。

〈今後の改善方策〉 各進路行事・講演会の質を高めるとともにその意味を正しく生徒に伝え、志を育て、夢を育む。

5 開かれた学校づくり

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動等参加率 B ↓ ・情報発信 A ↑ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者にとって必要な情報がリアルタイムに発信されていて十分機能している。

〈今後の改善方策〉 生徒・保護者・PTA・同窓会にとって必要な情報を精査し、日常的かつ迅速に配信できるように努める。

※1 自己評価：生徒・保護者・職員へのアンケート等を踏まえた評価(目標達成度) ↑ ↓ は昨年度からの変化
A 十分に達成できた B 達成できた C もう少しで達成できた D 達成できなかった

※2 学校関係者評価：学校の自己評価結果に対する学校評議員会(地域の学識者、経営者、保護者等6名からなる組織)の意見等。